ザ・カンニング

仏題：　Les Sous-doués
制作：　1980 年代
監督：　クロード・シディ
出演者：

・<u>生徒</u>
　ベベル：ダニエル・オートゥイユ
　ジュリアン：フィリップ・タッシーニ
　ガエタン：ガエタン・ブルーム
　グラフィティ：パトリック・ローラン　etc..

・<u>講師</u>
　ルシエ・ジュマンクール：マリア・パコム
　レオン・ジュマンクール：ユベール・デシャン　etc..

★あらすじ

ルイ１４世予備校のルシェ校長は怒り狂っていた。というのもルイ１４世予備校のバカロレア（フランスでは大学に入るために高校の卒業試験がある。それがバカロレアという試験で、これに合格しないと大学に行けない）の合格率がゼロで、しかもそれがテレビを通じてフランス中に知れわたってしまったのだ。そこで今年こそ生徒たちを甘やかすのを止めようと、教鞭をとっている夫レオン、娘マリリン、体育教師ブリュスともども徹底的にシゴクことを決意。一方、生徒たちはというと、これまたユニークな連中ばかり。恋人のジュリアンと一緒に予備校へ通えるので不合格は大歓迎のカロリーヌ。バイクを盗まれ頭に来ているガエタン、その彼から盗んだバイクを何食わぬ顔で本人に売りつけるグラフィティ。誰でも平等に愛してしまうジャンヌ。某発展途上国元首のたよりない後継者オノレ。そしてリーダー格はあらゆる校則を無視するベベルだ。
勉強のできない予備校生たちが大学入学資格試験（バカロレア）に様々なカンニングを駆使して合格するまでを描いた喜劇。

★映画を観た感想　（Chihiro）

結果を言ってしまうと、ルイ１４世予備校の生徒たちはさまざまなカンニング技術を用いてなんとか合格してみせた。生徒たちの先生に対するいたずらはとてもおもしろかった！笑いのつぼはフランスも日本も同じ！ぜひ観ていただきたい！